

教授宅母娘刺殺で鑑定留置

【東京・新宿】新宿

区内の大学教授宅で母娘2人が殺害された事件で、東京地検は2月28日までに、殺人容疑で逮捕・送検された無職の谷口忠雄容疑者(37)について、刑事责任能力の有無を調べるために、鑑定留置を開始した。捜査関係者への取材で分かった。事

件は昨年12月23日午後、東京都新宿区沈丁花町の住宅街で発生した。午後1時過ぎ、帝

の警備員により、家の

中で取り押さえられた

後、駆けつけた警察官

が現行犯逮捕した。取

り調べに対し谷口容疑

者は、「働きたくない

かった」、「偉い学者の

家なら罪が重くなると

思つた」と供述。また、

「刑務所で『二人まで

なら死刑にならない』

と聞いた」とも話して

おり、計画性や動機の

異常性が指摘されてい

る。茂木教授は、当時、

学会関連の外出中で無

事だったが、突然の悲

報に言葉を失つたとい

う。教授は細胞生物学

を専門とし、長年にわ

たり基礎研究に従事し

てきた。事件の背景に

は、容疑者の孤立や生

活困窮があつた可能性

もあり、警視庁は引き

続き動機の全容解明を

進めている。東京地検

は2月下旬、谷口容疑

者の精神鑑定を実施す

るため、東京地裁に鑑

定留置を請求。裁判所

がこれを認め、今後数

カ月間、専門医による

精神状態の確認が行わ

れる見通し。地域住民

からは、「あまりに理不

尽な事件。誰でも被害

者になりうるという恐

怖を感じる」との声も

上がっている。

無職男「刑務所戻りたい」

谷口容疑者は現場から逃走せず、通報を受けた駆けつけた民間のホームページセキュリティ会社



件は昨年12月23日午後、東京都新宿区沈丁花町の住宅街で発生した。午後1時過ぎ、帝栄学館大学理学部教授・茂木賢治朗さん(63)の自宅に、谷口容疑者が侵入。室内にいた妻・幸代さん(61)と長女・恵子さん(30)を刃物で刺し、2人はまもなく死亡が確認された。